

市指定

所在地：風深

しほんぼくしよろくじのみようごう

紙本墨書六字の名号

「六字の名号」は、真宗寺院本寺の門跡が熱心な信者に下付したもので、南北朝時代頃から下付され始め、中でも本願寺派門跡中第8世蓮如上人は加賀国で中心的な信者に盛んに名号を下付している。
(15世紀中頃～後半)

光専寺に伝わる当「六字の名号」は、有名寺院に残された蓮如上人の筆跡、字形と全く同一のものであることから、蓮如上人真筆と推定される。

